

日中国交正常化 45 周年記念に係る中国中山市訪問 報告

長崎市議会議長 野口 達也

1、目 的

今回の訪問は、中華人民共和国駐長崎総領事館の劉亜明総領事より、日中国交正常化 45 周年を記念して、長崎市議会と中国の人民代表大会との地方議員間の交流を目的とした事業の申し入れがあり実現したもの。市民友好都市であり孫文先生の故郷である広東省中山市をお伺いし、併せて、世界新三大夜景に認定されている香港が、福岡空港からの発着地であることから太平山からの夜景を視察した。

2、訪問期間、訪問都市、日程

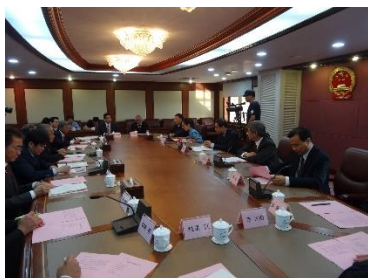
報告書概要の通り

3、所 感

(1) 中山市役所・中山市人民代表大会

長崎市と中山市は、2011 年に市民友好都市として提携を行って以来、経済界をはじめ多くの分野で交流をしてきている。今年は両市の中学生がお互いに訪問し合う（8月に「子ども夢体験事業」で長崎から中山市華僑中学を訪問、9月には華僑中学生が長崎市を訪問）など、良好な関係を築き上げている。中山市役所の玄関から幅約 20m、長さ 2.5Km キロ先には孫文(孫中山)の立像が立っており、「中国革命の父」、「近代革命先行者(近代革命の先人)」として、近年では「国父」と呼ばれているだけに、孫文と所縁の深い長崎市議会議員団を丁重に迎えていただいた。

唐穎中山市人民代表大会常務委員会常務副主任からは「これまでの交流を機に姉妹都市としての検討も考えていただきたい」との挨拶があり、孫文と梅屋庄吉の繋がりは深く、素晴らしい提案とは感じたが、現在は福建省福州市と姉妹都市提携を行っており、まずは議員間交流を機に、中山市人民代表大会からの長崎訪問を実現していただきたい」とお願いした。





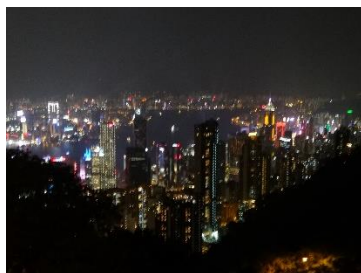
孫文故居記念館の視察においては、孫文を支援した梅屋庄吉の紹介を期待したが、日本人との集合写真らしきものはあったものの、氏名の紹介もなく寂しく感じた。



中山市人民代表大会による歓迎式・意見交換会、孫文故居記念館視察と短期間による日程ではあったものの、これまでの両市間の交流に議会としての仲間入りができるのは大変有意義なものになった。

(2) 香港夜景視察

平成 24 年、世界新三大夜景に認定された香港の夜景を、最高の視点場である太平山から視察した。ビクトリア・ハーバーを望む「100 万ドルの夜景」と称されているが、私には、長崎の夜景が立体的であり、1 ランク上の夜景と感じた。ただ、夜景観光客は長崎の稲佐山と桁違いに多く、交通アクセス、駐車場の確保が課題点と感じた。



(3) その他

離発着の香港国際空港から中山市へは出入国審査があり、香港が特別行政区としての一国二制度を感じた。また、香港では高層ビルが建設されているが、いまだに竹の足場も多いのに驚いた。

